

1、目的・概要

解決提案の方向性として

- 1、学生のボランティアに対する関心を増幅させ、地域ボランティアへの第1歩を本企画にて踏み出してもらおう。
- 2、大学という閉鎖的環境をより地域に広げるために、地域の方に直接足を踏み入れてもらうきっかけづくり。
- 3、子どもと親（特に父親）の関係づくりと親同士の子育て相談会などの育児に対する不安を取り除く。

これらを同時に行うとともに、大垣市が目指す、子育て推進計画を幼児教育専門以外の大学としても取り組んでいく。これらのことを子育てサロンという1つのプログラムを通し、同時に解決をしていく。

2、テーマ

ボランティア活動環境の創出と大学を活用した

地域連携として学生主体で地域にできるフィールド研究

～学生のボランティアに対する関心の育成と親子コミュニティを築くために

ボランティアセンターからできること～

3、今回実施したプログラム

- 1) Hug Happy (はぐはぴっ!) 保護者と子ども向け企画
- 2) あそぼらっ! ボランティア学生向け企画

4、あそぼらっ!とは?

岐阜経済大学の学生がよりボランティア活動に参加したいと感じられるように、きっかけづくりとして HugHappy に参加をしてもらえればと思う。

【対象者】

- 1、岐阜経済大学学生であること
- 2、ボランティアスタッフであること
- 3、子どもとかかわるボランティアをしたいと思っていること

5、はぐはぴっ!とは?

岐阜経済大学に地域の方が出入りのできる環境を整えるとともに、子育て世代への居場所となるような環境が“大学“という場所で学生の力でできたらと思う。

【対象者】

- 1、子育て中の保護者
- 2、3歳児から6歳児

6、開催概要

【第1回目】

- 開催日：10月31日 10:00～12:30
- 場 所：岐阜経済大学内
- 対象者：3歳児から6歳児とその保護者
- 告知先：市内の幼稚園、保育園、大学周辺の地域（回覧板）
- 企画内容：玩具遊び、読み聞かせ、お菓子取り合戦、子育て相談カフェ
→子ども対象の企画と保護者対象の企画の両方を企画。

【第2回目】

- 開催日：11月21、22日 10:00～16:00
- 場 所：岐阜経済大学 学園祭内
- 対象者：学園祭来場者（ただし、乳児～幼児対象）
- 告知先：市内幼稚園、保育園、大垣市社会福祉協議会、大垣市北方町（回覧板）
- 企画内容：ヨーヨー釣り、バルーンアート体験、子育て相談カフェ、知育玩具コーナー、しおりづくり体験
→学園祭の中での開催のため、簡単にできるものを中心に行った。

7、保護者からの意見

- 昼食が食べられるように時間を確保してほしい。
- 連絡先をはっきりしてほしい。
- ほかの参加者（同保育園、幼稚園）を増やしてほしい。
- 子どもがもう少し遊べる環境がほしい。
- 保護者だけで話せる環境（カフェ的なもの）がほしい。

8、ボランティア学生の意見（一部）

- 疲れた。でも楽しかった。
- 長い時間のボランティアだったため疲れたが、子どもたちが楽しそうだったのでよかった。
- 思っていたよりも子どもたちが来て忙しかったが、その分子どもたちと触れ合うことができよかった。久しぶりに子どもと接することができて楽しかった。
- 思ったより人が来たので大変だった。後片付けも大変だったが、子どもに喜んでもらえたと思うので参加してよかったと思った。
- 子どもが多く来ていて、その相手をするのが大変ではあったけど、しっかりできたと思うのでよかった。

9、今後の展望

- 保護者からの継続開催の願いがあった。
- 学生からも継続開催の希望の声がある。
→今後も月1回程度の開催が望ましいと考えられる。
→大学側の理解を求めるとともに、支援体制を組織する必要がある。